

## 平成30年度まちかどミーティング会議録

開催日 平成30年11月5日（月）  
地 区 植苗地区  
会 場 植苗ファミリーセンター（集会室）

### <町内会からの要望>

○司会 それでは、意見交換の時間に移らせていただきます。町内会からの要望に関する意見交換につきましては、これから約30分間とし、残りの時間を当日参加者との市政に関する意見交換の時間とさせていただきます。あらかじめお配りをしております町内会からの要望事項に従って進めてまいります。

初めに、町内会からそれぞれの要望内容に関して、改めて趣旨説明や補足が必要な場合は説明をお願いいたします。町内会の説明が終了した後、要望全体を通しての質疑応答を行いますので、進行に御協力をお願いいたします。また、発言の際にはマイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前を述べてから要点を簡潔に発言をお願いいたします。

それでは、植苗町内会連合会さんから提出されました要望は1番から3番までとなりますが、これについて趣旨説明や補足等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

◆市民 一応、説明してください。

○司会 はい。よろしく申し上げます。

◆市民 棒読みでもいいから説明してもらったらいい。

◎市長 答えを説明してくれる。

○司会 分かりました、はい。それでは、要望に関する回答の説明をお願いいたします。まず、1番から順番をお願いいたします。

◎道路維持課長 道路維持課の小西と申します。ふだんから植苗地区の方々には道路の破損や除雪の雪の関係なり、いろいろ情報をいただいて誠にありがとうございます。今回も3点ほど連合会の方から御質問、御要望を受けておりますので、その関係、書いておりますけれども、改めて説明させていただきたいと思っております。

まず1つ目がお城通りの排水路の整備についてということで、私たちの回答といたしましては、これは市道南5号線という場所にありますけれども、今年度、側溝をですね、当初片側しかなかったのですが、反対側にも付けて少しでも水が道路に残らないようにということで、排水の側溝を付けさせていただいて、なおかつ水が浸透するようにということで、砂利等を入れて処理させていただきました。引き続き、道路の排水の維持管理を行いながら、通行の安全を確保して、もし、何かがあれば、また対策を考えていきたいということで考えております。

2番目の舗装、補修及び排水の整備ということで、これ昨年まちかどミーティングの中でも質問された場所でございます。美沢道線といいまして、ちょうどバス路線、あれの水飲み場の辺りまで歩道が付いている部分のお話でございます。これにつきましては、昨年いろいろ調査するというので、水が出てくる場所だとか、ちょっと調べさせていただいたのですけれども、ちょっと私たちの方の調べ方がまずくてですね、連合会の■■■■さんの方にいろいろ現地の方、調査するときに教えていただいて、いろいろ対策させていただきました。昨年は、通行できるように草を刈るとか、また、一部補修などを行って。一部排水も掘ったのですけれども、実際水位が高くて水そのものが流れていかないということで、■■■■さんの方とお話して、歩道の方の整備を少し、今の歩道と車道が一体となって高くなっているのので、水がそのまま車道側に流れていくと。歩道側から山の方から水が流れたやつがそのまま歩道の方から車道の方に流れていくということで、何か方法がないかということでいろいろ御相談をさせていただいて、我々としてもいろいろ考えたのですが、その中で多少歩道を、今度、マウンドで高くして排水が、水が直接道路に流れないような方法もどうだろうかということで■■■■さんとお話しさせていただいて、いろいろ地域の先ほど言いました地下水の関係なども教えていただいて対応していきたいということで。すぐに全てができるかということとはちょっと今この段階では言えませんが、来年以降、少しでも通行に支障のないような、道路に水がたまらないような形で歩道の方の整備もやっていきたいということで、2番の方の回答とさせていただきます。

それから3番なのですけれども、これについては、植苗地区の生活道路につきましては、例年整備させていただいております。今年も星ヶ丘3条線の舗装工事をやらせていただきまして、今後もこの要望を受けた2か所を含めて、町内会の方と相談しながら整備の方を今後続けていきたいというふうに考えております。今回の要望についての趣旨説明は、こういう形になります。よろしく願いいたします。

◆市民 今、2番目の説明をいただきました。ここは美々川まで排水路をちゃんと掘れば水位はうんと下がる、その基本の仕事がなされていないからこういう結果になる。だから、排水路をちゃんと、もとの川がありますから、その川の床ざらいをすることによって水はうんと下がります。その基本的なことをやっていません。以上です。

◎道路維持課長 今、■■■■さんの言われたとおり、実は排水2か所、水が溢れております。1か所の方は北側の方、水飲み場がある場所。あそこについてはきれいに流れているのですけれども、南側の方はやっぱりちょっと草が生えていて、水の流れが川のように流れていないというか、ゆっくりだから流れている状態です。その辺につきましても、ちょっと川そのものの水が流れているところの土地の関係もありまして、全てが市の所有なのかということも含めましてちょっと調べながら、水の流れる、特に南側のちょうど住宅街との間のところを流れている排水の水の流れ

いるところを、もう一回ちょっとその辺、個人の土地の兼ね合いもありますので、その辺につきまして調べながら水の流れやすいような形を考えていきたいと思いません。

◆市民 私は、平成5年から13年まで連町の■■■■をやったときに全部調べて、美々川から河川敷地全部埋まってしまっている。それを全然手を付けてないから、今、おっしゃっていることは表だけで、本当の基本の調査をされていない。私、それは体張って言います。もうちょっと真剣に調べてほしいと思います。河川敷地、全然、手付けてない。だから、水はそこで落ち出しになっているから、水は引けていかない。以上です。

◎道路維持課長 分かりました。その辺も含めて、美々川の方、

◆市民 立ち合わせてくださいよ。

◎道路維持課長 はい。その辺もまた、教えていただきながら、また、その辺の処理を、

◆市民 そんな中途半端では、駄目ですよ。

◎道路維持課長 分かりました。

○司会 それでは、これで質疑の方に進めさせていただきたいと思いますが、ただいま回答について御説明させていただきました内容につきまして御質問がある場合は、挙手の上、マイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前、何番目の要望に関する質問かを述べてから簡潔に発言をお願いいたします。どなたか御質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

◆市民 中央町内会の■■■■の■■■■と申しますけれども、2番ですね。これの冬場の歩道の除雪に関して、あそこ犬の散歩する人が何人かいますので、さっき言われました南側の美々川まで流れているところの、あそこからもうちょっと行ったところに、50メートルぐらい行ったところでもって、舗装がもうぐちゃぐちゃになって、あそこで2年前かな、2年前ぐらいからもう市の除雪は入ってないのですよ。それで、犬の散歩をするのが皆さん大変困っていらっしゃるって、そして、あその■■■■さんというのが、その人が自分の、自前の除雪機でずっと湧き水通り越して坂の上まで除雪してくれているのですよね、自分も散歩するので。だから、そういうやつの2年間もそうやってやっていただいているのだけれども、市の方ではどういうふうな考えでいらっしゃるのかなと。まあ、僕らにすれば、そうやってやっていただいているのだから、市の方から多少なりとも見返りみたいのがあってもいいのかなって思う次第でございます。

○司会 それでは、ただ今の質問について、市からの回答をお願いします。

◎道路維持課長 今、除雪の関係で、歩道の部分の除雪をですね、何人かが御利用されているということで対応できないかと。基本的な市内全部の話なのですが、この地区ということではなくて、市内全部の話をさせていただくと、歩道除雪につきましては、通学路を優先にまず除雪させていただいております。その他、歩道で例

えば吹きだまりができたとか、除雪して、市の除雪はかき上げ除雪と言いまして片側に寄せてしまうので、そういう除雪の雪が歩道の上に上がってしまって、歩道が歩けなくなったという場合につきましては、率先して通行に支障があるということで歩道についても除雪をさせていただいております。

今、言われている場所は、過去にちょっと除雪していたかどうかというのは、僕ちょっと申し訳ないのですけれども、データがないのでちょっと今ここでお答えはできませんけれども、基本的なスタンスから言いますと、あの部分については除雪、通学路で子供が通っているということであれば、すぐやりますけれども、基本的には除雪としては通学路優先という形になっておりますので、通学路でなければちょっと後になってしまいますけれども、ちょっとその辺は雪の降り方とか、特に植苗地区は雪が多いので、その辺の様子を見させていただいて、今後の課題にさせていただきたいのですけれども、それでよろしいでしょうか。

◆市民 いや、あそこは犬の散歩やなんかだから、9時でも10時でもいいのですけれども、その時間帯でも除雪は入ってないと。それで、要は車道は除雪しますよね。だから、あそこで言えば、要は向こう向いて行って、全部雪は左側にはねていく、歩道側にははねないから。だから、それで要は歩道に降ってたまった雪だけがそこに残っているから。だから、それを除雪していただきたいと。犬の散歩の人があそこ歩くので、何人も歩くので。だから、それがなければやっぱり皆さん車道を歩いていますので。だから、そこをどういうふうにかえているのかな。それと個人がそうやってやっていたらいいので、2年ぐらいね。だから、それを市はどういうふうにかえているのかなということなのですよ。

◎道路維持課長 1つ目のあの場所の雪の状況、それにつきましては雪の降り方なり状況を見ながら、基本スタンスは先ほどお話ししたとおりですけれども、状況を見ながら総務部長さんと相談しながら、先ほど言った吹きだまりとなって必要だということになったときには考えていきたいと思っておりますけれども。

それから、2番目のですね、これちょっとすごい難しいお話で、市内でもボランティアでバス停なり高齢者の家の前を除雪してくれたり、いろいろしてくれたりしております。そういう方々に、今、言われたとおり市として何かしているのかと言いますと、実はしておりません。今後もそういうのもですね、市ができないような除雪等についての対応につきましては、今後、どのようなことができるのかちょっと考えていきたいのですけれども、今のところ、まだちょっと何をしていくかということが分かりませんので。市内でもボランティアでいろいろやっていたらいい。先ほど言いましたけれども、高齢者の家の前の雪をよけていただいたり、バス停等を除雪してくれている方もおられますので、その点もありますので、誠に申しわけないのですけれども、この場で市として何かしてほしいと言われても、なかなかちょっと答えられないというのが現状なものですから、その辺につきましても、

また、          さんと今後の方針も含めましてお話ししていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◆市民 分かりました。

○司会 それでは、他に御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

町内会の要望に関する御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。はい、どうぞ。

◆市民 美沢の町内会の          と申します。

私の住んでいるところは、昭和19年に、18年ですか、こちらへ引っ越ししてきて、昔は私もここに20年にあれて住んでから33年までいたのですけれども、40年ぶりにこちらの方に引っ越ししてきて住んでいるのですけれども、今まで17年までは私の玄関の前がバイパスだったのですよね。それが17年のときに市の方に、あちらの方にバイパスができたので委託されているのですよね。ところが、坂から流れてくる水がほとんど私の家に入ってくるように低くなっているのですよ、こっちに向けて作っているのですよ。それでもって、水がすごく坂から流れてきて床下に入ってくるというような状況になっていたものですから、市の方に言って排水を作ってもらったのですけれども、その排水が去年詰まって、大雨のときに、もう玄関から水が入ってくるところまで来ちゃって、その水の流れる排水が山の方には入っているのですけれども、側溝が。我々のところには入っていないのですよ。だから、みんなこういうふうには傾斜が付いているものですから、家の方に流れてくる。あの舗装を何とかしてもらわなかったら、大変だと思いますよ。

○司会 分かりました。すみません、今、この事前、

◆市民 2番目。

○司会 事前要望に関する内容ということでよろしいですか。2番目の部分ということですか。

◆市民 そうそうそう。はい。だから、山の方に側溝が水門まで入っているのですよ。いや、いいですよ、もう。

○司会 はい。今、この事前要望の2番目に関する御質問ということなのですが。

◆市民 みんな家に入ってくる。昔はすごく低かったの、道路が。

○司会 では、回答をお願いいたします。

◎道路維持課長 どうもすみません。今のお話なのですが、美沢川道線の上の方だということだと、私もちょっと今お話の中でちょっと感じたのですが、場所的にちょっと分からないので、後で住宅地図を見ながらちょっと教えてもらいたいのですけれども、よろしいでしょうか。

◆市民 はい、いいですよ。

◎道路維持課長 すみません。申しわけございません。

○司会 それでは、他に事前要望に対する御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

### <当日参加者との意見交換>

○司会 それでは次に、当日参加者との市政に関する意見交換の時間に移らせていただきます。多くの方に御質問いただけるよう、発言は簡潔にお一人1件ずつお願いいたします。残りの時間に余裕がありましたら改めてお伺いしますので、よろしく願いいたします。なお、町内全体に関わらないような個人的な要望等につきましては、本日、市の担当者が多数来ておりますので、まちかどミーティング終了後に直接お話をさせていただきたいと思っております。

本日のまちかどミーティングは、植苗町内会連合会にお住まいの方を優先させていただきますので、御了承ください。

それでは、市政に関して、日頃お気付きの点や御意見のある方は挙手をお願いいたします。

◆市民 中央の[ ]といいます。

今回のブラックアウトにおいて各地区完全にブラックアウトだった状態なのですが、こちらの会館もせっかく防災のための無線があるにもかかわらず一切使えない状態になったと。だから、やっぱりここは発電機が必要なのかなと思うし、あと、各観光客や、あるいは緊急の場合において必要なのは、道の駅にも是非必要なのかなと考えておるのですが、いかがでしょうか。

○司会 ただ今の質問に対して、市の回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 防災を担当しております市民生活部長の片原と申します。よろしくお願いいたします。

今回の東胆振地震による大規模停電につきましては、全市域、あるいは全道的にもブラックアウトということで、今回の電源喪失に関わるいろんな課題というのが浮き彫りになったというところでございまして、現在、例えば非常用の発電を含めて、こういった大規模な停電の際の対応について、全市的にどのようにこれから備えていくかという部分ですね、今、正に検証を始めているところでございます。この部分につきましては、我々もかつて経験したことのない事態だったものですから、なるべく時間を置かないで、その方向性については、ちょっと検討をさせていただきたいと思っております。

それで、町内会館しかり、それから道の駅もやはり交通の拠点ということもありまして、おそらく運転されている方が一時的に退避されるようなケースも想定されますので、そういった部分を含めて、ちょっとここは前向きに検討させていただきたいというふうに考えております。

○司会 よろしいでしょうか。

では、他に御質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

◆市民 中央の[ ]です。

今回の震災の件でちょっと話があったのですけれども、活断層がこの付近に走っていることを知っている方、手を挙げてください。はい、少ないですね。石狩低地東縁断層ですね。それが今危ない状況だということもネットや、あるいは情報でも唱えられていますけれども、そのことについて質問したいのですけれども。まず、情報の共有化としてちょっと自分資料を持ってきたのですけれども、そのことをちょっと読ませてもらいたいのと。あと、避難場所の確認、今、植苗の避難場所はどこであって、そして、その場所が是非かということですね。海拔が確かゼロメートルのところもありますので、津波とかそういった関係においてどこまで水が来るのかとか。そういった防災マップの関係も全町にやっぱり一人一人に渡す。自分は3年前に越してきたのですけれども、そのような情報というものが手元に来なかった。尋ねていけばもらえるのかもしれないけれども、積極的に渡してもらいたいと。

それと、やっぱり停電時、ブラックアウトになったときに、今の時期、もう既に言われていますけれども、冬場にあったらどうなるかということで、暖房の設備が全く効かない。まきストーブというものが必要じゃないかなとか、そういうものも含めまして確認とか。あと、ハイブリッドあるいは太陽光発電をしている人は電気の確保はできますから、そのようなものを共有化できるような呼びかけとかも必要だと思います。

その後についてですけれども、ちょっと自分緊張して、ちょっと読んでもらいます。情報の共有化としてです。

- ◆市民 6日に北海道の胆振地方で起きたマグニチュード6.7地震の震源地近くには南北に伸びる石狩低地東縁断層帯が存在することを気象庁が明らかにした。政府の地震調査委員会によると、この断層帯ではマグニチュード7を上回る地震が発生する可能性があり、今後30年間に巨大地震が起きる確率がやや高い活断層だという。石狩低地東縁断層帯は、北海道西部石狩平野とその東側に位置する丘陵地帯との境付近に南北100キロ以上にわたって連なる活断層だ。この断層帯は、北美唄から岩見沢、夕張、千歳を経て、今回、震度6強の揺れを観測した勇払郡安平町に至る主部と千歳から苫小牧、勇払郡厚真町、日高町の沖合に至る南部から構成されていて、主部は長さ約66キロ、南部は54キロ以上と推定されている。政府の地震調査研究推進本部によると、活断層全体が動いた場合、主部ではマグニチュード7.9程度、南部ではマグニチュード7.7以上の地震が発生する可能性があるが、いずれも日高山脈に近い東側の地盤が西部の地盤に対して2から4メートル以上せり上がって段差ができる可能性があるという。過去の18世紀中から19世紀後半にかけて主部が活動した記録が残っているが、南部については最近の歴史が解明されていないため詳細な分析が急がれる。気象庁によると、最初の地震発生以来、午前10時までの間、震度1以上観測した地震は既に44回発生しており、そのうち最大震度4は2回、最大震度3は8回起きている。2016年の熊本地震のように今

回の震源地の周辺には未知の活断層が存在している可能性もあり、さらに、

◆市民 長いので割愛しますが、結局、今回の地震で、今の石狩低地東縁断層帯が今後30年以内に動く可能性がかなり多いということなのです。まだ、地震学会の方でも調査していないと。是非調査して発表してもらいたい。早急に発表してもらいたいのと、避難場所も是非ですね。それと、あと、マップです。津波が来たときどこまで水没するのか、あるいはどこまで水が来るのかというのをマップを作ってください。お願いします。

○司会 それでは、市の回答をお願いいたします。

◎危機管理室主幹 防災を担当しております危機管理室の前田と申します。よろしくお願いいたします。

今、何点か御質問ございましたけれども、まず石狩低地東縁断層帯、活動の御説明につきましては、今、説明いただいたもの、ほぼほぼ全てかとは思いますが、その活動の可能性ですけれども、今ほどお話あった中で、政府の地震調査研究推進本部の方で今後30年間にマグニチュード7.7というクラスの地震が発生する確率0.2%と言われております。0.2が大きいのか小さいかと言いますと、2年前ですけれども、熊本地震が起きました。熊本地震も活断層の地震です。このときの断層の発生確率が0から0.9なのです。いずれにしてもこれは先ほどお話のとおり、やや高い、発生確率が高いと言われております。ですので、私どもとしましてもこういった地震の発生に向けてはしっかりと備えなければいけないという注意をしている活断層であります。

そのことを踏まえて、では、そういう地震が起きたときとか、この地域の皆様方、どこに避難すればいいかですけれども、基本的に苫小牧市では避難所は学校です。ここで言うと、植苗小中学校を避難所として指定している避難所は学校でございます。これは、他の津波とかの場合においても同じです。

もう1点お話ありましたけれども、津波のマップにつきましては、どういう状況かと言いますと、実は今年の3月ですけれども、苫小牧市ではこういう防災ハンドブックというものを作成してございます。今年の3月には、皆様、全戸に配布をさせていただいております。この中に、苫小牧、さまざまな災害の可能性はあるものですから、この中にマップをいろいろと入れてございます。

植苗に関しますと、実際のところ、植苗につきましては津波が来る予想はされておられません。ウトナイ湖の周辺ぐらいまでは津波が来るかなというふうに言われておりますけれども、それよりも北側については津波が来るという予測はされておられません。ただ、万が一のときの避難先としては、植苗小中学校を避難所と指定させていただいております。ですので、もしもこれ、この中に津波のマップですとか、あるいは河川氾濫のマップですとか、樽前山のマップ全部入っております。もしも、これ、今、ないということでしたら、また後ほど差し上げる。あるいは市役所です

とか出張所なんかにも置いてありますので、そちらでお取り寄せいただくか、もしも言うていただければ郵送することも可能ですので、言うていただければというふうに思います。

あと、お話の中で、ストーブのお話もあったかと思ひますけれども、私どももかつてのいろいろな災害の中からの経験から、先ほど申し上げました植苗の小中学校の中には、赤外線ヒーター、こういったものも用意しております。あるいは、その際に電源が喪失しては困りますので、そのために発電機も用意しております。まだまだそれらもですね、それで十分な量かというところがありますので、先ほど部長も申し上げましたとおり、今回の震災のことをしっかりと検証した中で、更に防災力を高めていきたいというふうに思っているところでございます。私からは以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 活断層については、調査とかそういうのは。

◎危機管理室主幹 活断層の調査ですけれども、先ほどのお話もございましたけれども、政府の方で調査をしております。その調査結果は、何十年かに1回かと思ひますけれども、更新はしておりますし、その発生の確率ですとかいうものも、毎年、今で言うて2018年版ということで、これインターネット上の中でもそういう発生の確率ですとかいうものも出ておりますので、基本的にはこういった活断層レベルの調査につきましては、国の知見を待ちたいということで、我々もその情報をもつてしっかりと防災体制を構築しているといった状況でございます。以上です。

◆市民 あと1点、市町村によって違ふと思うのですけれども、地震に耐えられるような補助金というのですか、各家庭の。そういうのは苦小牧はやっていないのでしょうか。地震が起きたときに、要するに、何ていったかな、度忘れしちゃったけれども、耐震、そういうのを市町村によっては建物が古くなったところに進めて、それを補助金で出しているようなことを聞いたのですけれども、苦小牧はどのようにやっているのでしょうか。

◎危機管理室主幹 耐震につきましても、昭和56年より以前のもものが旧耐震基準と言われてはいますが、そういったものが基本的に対象になりますけれども、その耐震の診断をする、あるいはその結果に基づいてリフォームをする、こういったものに対しては融資制度、苦小牧市でもございます。ちょっと担当、防災以外の担当になるのですけれども、そういった制度もございますので、その周知も含めてしっかりと対応してまいりたいというふうに考えております。

○司会 すみません。それでは次に移らせていただきます。他に御質問ある方いらっしゃいますか。

◆市民 植苗遠浅の■■■■と申します。

この台風、地震等の関連なのですが、苦小牧市そのものとしての被害状況はどの

ような状況であったか。それと、確かに地震速報では5弱だとか4だとかって確かに言われますが、この地域として、より観測点を苫小牧はどこを基点として測っていて、それが公表されているのか。逆にこの西から東までのこれまで長い地域で観測点がどこで、逆に苫小牧はこの植苗のところのやっぱり住民の方がすごく不安になったこの箇所の測定値というのは、失礼ですけれども、厚真さんとか安平さんのいろんな被害状況からすると、あってもなかなかそれについて目配りがちょっと足りなかったのではないかというふうに思いますので、その辺の被害状況、もしくは今後の地震波形の基点というのを最低でも3か所か4か所くらい、もし可能であればということで御質問させていただきます。

○司会 市の回答をお願いします。

◎危機管理室主幹 まず、今回の台風はちょっとあれなのですけれども、今回、地震における被害ですけれども、まず人的な被害です。苫小牧市におきましては、残念ながらお二方が今回の地震でお亡くなりになっております。それから、重傷ということになっていますと、やっぱり避難の際に転倒した方中心ですけれども、6名の方が骨折で重傷となっております。あと、全体としては、今、言った2名、6名を含めまして21名の方がけがをされたといった状況です。

それと、物的な被害なのですけれども、まずは一般の家屋につきましては、今、半壊、全壊、半壊とかありますけれども、半壊については今のところ1軒というふうに押さえております。あと、一部損壊というランクがございますけれども、なかなかちょっとこれはかなり幅広いものなのですけれども、100軒を超えるお宅が壁の一部に亀裂が入る、あるいはモルタルが一部はがれるというような被害があったというふうに今のところ押さえております。

それと、もう1点、地震計のお話です。確かにこの間ですね、さまざまなそういった御意見をいただいておりますけれども、今、苫小牧市におきます地震計については2つです。1つは、気象庁が付けている地震計が末広町です。それともう1件が、同じこの文部科学省の方の研究機関が付けている地震計が苫小牧市にもう一個あります。これ、実は旭町なのです。非常に近い場所にあるのです。私どもとしましても、これだけ東西に長い苫小牧市ですので、それだけ近い場所に2つの地震計があるということについては、我々としても疑問に思っておりますので、実は先般も气象台の方と意見交換をする場面がございましたので、できればそれを移設するなり、もう少し、断層が近いのはやはり東部地域ですから、そういったところへ移設できないかということについては、まだ口頭段階ではありますけれども、要請をさせていただいたところでございます。以上です。

○司会 それでは、他に御質問ある方、いらっしゃいますでしょうか。

◆市民 町内会以外でもいいですか。ここの植苗町内会ではないのですけれども。

○司会 はい、どうぞ。

◆市民 沼ノ端の■■■■と申します。

本来でしたら、10月31日開催のミーティングの方に参加するところでしたが、風邪が悪化したため参加できませんでしたので、こちらに参加させていただきました。本日はお忙しいところ、岩倉市長を初め市幹部の方々に集まらせていただきまして、誠にありがとうございます。また、岩倉市長に対しては、11月3日、4日の苫小牧コスプレフェスの参加など、苫小牧市をアピールするなど観光に尽力されていることを深く感謝いたします。そのように町を活気付けるために活躍されている岩倉市政へ、私の方から苫小牧市としてどのようにお考えなのか、お聞きしたいことがあります。

苫小牧市は、国、道及び関係事業団体に対する重要要望事項を平成30年度として提案されております。その中には、JR日高本線、室蘭線の路線復旧と維持に関する部分が触れられております。その中、JR問題については、最重要要望事項として取り上げられており、通勤、通学、通院などの交通の足として、電気、ガス、水道などと同じようなライフラインとして同じ位置付けとして考えられます。

本年8月29日の苫小牧民報では、非公開で各町、市長と今後の路線維持について協議されておりますが、我々市民には具体的な方策や活用、維持について示されておられません。また、苫小牧市役所のホームページ上には、年々公共交通機関の利用が減少している中、利用しようとしてコメントのみが記載されており、それ以上の利用策も示されておられません。岩倉市長、御存じだと思いますが、JR北海道苫小牧運転所には、北海道生誕150周年記念のラッピングトレインである「花の恵み」というラッピングトレイン、全道で4両のうちの1両が配備されていることは御承知でしょうか。昨日、夕張で石勝線夕張支線生誕126周年記念で団体列車として「花の恵み」が運行し、イベントを盛り立てて、鈴木市長を初め、関係、観光団体の方々に大きな喜びや感動を与えられたことが北海道新聞にも紹介されました。また、他方面から人が集まってきて、賑やかな夕張の町が活気づいたという記事にも共感をいただきました。市長、観光という概念で鉄道を利用する推進策というものを考えることはできないでしょうか。

先ほどプロジェクトマッピングでも、通勤列車のみのマッピングだけが映っておりましたが、日高線もローカル列車キハ40ですとか、そういった日高にしかないもので、苫小牧は日高本線の起点であるということを誇りに思って、まず列車の魅力を含めて今すぐできることとしては、JR北海道に対して「花の恵み」というものには約850万円のラッピングの費用が補助として出ており、実際もう走っている状況であります。それを一般公開という部分で苫小牧でもお披露目会というものをやってはいかがでしょうか。岩見沢では実は7月11日に行われて大変好評でした。また、釧路、旭川、帯広でも同じような公開があり、それを目当てにお客様が来られて観光振興策としても使われておりますし、また、JR北海道の収支改善の

部分にも幾らかにも地域の部分でもお役に立てるのかと思いますし、また、とまチョップを生かした苫小牧の観光振興につながるかと思います。

ちなみに私が住んでいる沼ノ端では、今年で開駅120周年ですが、特段イベントがございません。また、日高本線はこれから12月にむかわまでが開通するというお話であります。その「花の恵み」を復興のあかしとして起点である苫小牧駅から運行させることなどをJRに対して要請することはできないでしょうか。

最後になりますが、先ほど市長からお話がありましたお金を使うのではなく、頭を使えという言葉がありました。鉄道利用で根室や釧路ではインバウンド客ということでさまざまな外国の方が来られていることもホームページ上には上がっております。市長及び総合政策部、もしくは路線という部分になりますので、観光推進課等々の方々の御意見をいただきたいと思っております。長々とすみません、お願いいたします。

◎市長 それで、JR問題、後で担当が補足すると思っておりますが、維持困難線区、苫小牧は2線区、JRの方から発表の中で含まれております。端的に言いますと、間もなく室蘭線の方は関係自治体協議会というものが設置されます。ここで岩見沢から苫小牧、室蘭線は沼ノ端まででありますけれども、苫小牧の各自治体のトップが集まって協議会を作り、そこに道も入って、あるいはJRも来ながら、室蘭線をどうするかという協議に入ります。そういう中で、やはり、我々、維持線、困難線区2線区ありますが、やはり日高線と室蘭線では随分事情が違います。日高線の方は、むかわからえりもまでの問題、途中、まだ災害で復旧の目途が立っていない部分がありますけれども、こちらの方も日高の各自治体の状況を見ながら、我々は1市4町、東胆振1市4町で各首長が集まって、そこで協議、合意しながら方向を、JR問題は進めようということで、何かあったらそれぞれの単独ではなくて、1市4町で合意形成をして進めようという約束の中で、今、進めているところでございまして、日高の首長さんのところには、むかわ町長がオブザーバーとして出ています。室蘭線の方は自治体協議会がようやくスタートをいたします。そういうことでありますので。

ただ、今のところ、新聞でもなっていますが、国と道の具体的な支援がまだはつきりしない、JRの方は存続に値はするけれども、その場合には、やはり沿線自治体の支援も必要だということは言っていますが、その額は全く示されていないところでありますので、そこをしっかりとできるだけ早く、道の支援、あるいはJRの要求額というものはつきり出さないと我々検討しようがない、自治体としては。これ、議会にかけて、市民の皆さんの合意形成が必要でありますから、そういう形の中で、今、何とも言えない状態なのです。今、利用促進策については具体的な提案がありましたので、それは担当の方から。あさって、8日にあるのですよ。JRの常務が来るのだな、あれ。JRの常務が来ますから、さっきの御提案については、

直接、岩見沢で会いますから、そういう提案があるから、JR北海道としてその可能性について検討できないかと。苫小牧、むかわ開通のあかつきの具体的な御提案がありましたので、それは8日の日に私、その沿線協議会とは別なステージで常務の方に投げかけてみたいなというふうに今思いながら聞かせていただきましたので。利用促進策について担当から、はい、どうぞ。

◎交通政策主幹 公共交通を担当しております工藤と申します。よろしくお願いいたします。

JRの関係につきましては、平成28年の11月から維持困難線区ということで今市長もお話ししたとおり、JR日高線と室蘭線ということで。今回、地域の沿線協議会ということで、室蘭線について、岩見沢市沿線、苫小牧までということで2市3町で今協議会を作るところでございます。その間も、これまでいろいろと維持困難線区と言われた中で、各町でいろんなイベントがあったときには、お互いに情報交換をしながら町の人たちに知らせながら何とか頑張っていこうということでお話をし、具体的なJRの方との協議というのに入る前に、地域として活動しようということで、今年4月に栗山の方であった栗山の老舗まつりだとか、そういうのにも市の広報の方にも出させていただいて、私も行ってきたのですが、1両が立って乗っていかなきゃいけないぐらい満員になりまして、岩見沢の方からは臨時列車も出っていたので、来年については、もし、できるのであればこっちの方からも出してくれというようなことも含めてお願いをしながら、お互いに情報交換をしながら利用促進に努めていきたいなというふうに思っています。

今、作る室蘭線の方の協議会については、JRさんの方でもいろんな事業計画を作っていくので、その中で地域と一緒に利用促進だとか含めて対策をしていこうというふうにやっていますので。今、意見としていただきましたラッピングの列車ですとか、そういうものも含めて利用促進に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。前向きにその辺についてはJRの方にも投げかけていきたいと思っています。

◆市民 乗る人がですね、ラッピングトレインの列車の運行日ですとか予定だとかというのが、一切、このJR北海道のホームページ上に載せていない、掲載されていない状態なのです。ただ、花咲線ですとか、釧網線で走っている列車については、各支社ごとの温度差にもよってなのですが、公開している部分がありまして、実際、10月の27日に花咲線ではラッピングトレイン第2号ということで公開したところ、大勢のお客様の方が来たり、あと、セレモニー等も行われたり、あと、私の方もJR北海道さんの本社さんの方、それから苫小牧駅さんの方にもその旨を伝えたところ、運行情報は公開することはできかねると。ただ、せっかくある列車、もったいないですよ。そして、もうお金もかけています。道産杉を使っていて、きれいな列車なのです。やはり、各全国の方々、鉄道ファンの方含めてなのです。

けれども、「いや、いいねえ。苫小牧に住んでいるのだけれども、いや実は乗れないんだよね。市民が乗れない列車ってあるの。」というのが現状なのですよ、市長。やはり、公開日が分かることによって、そこにお客さんが来れる。来れるということは、そこでお金が落ちるといふ部分にもなりますし、ましてや170円という入場券を支払うことで、例えばその列車を見ている、見て触れて体験してみるという三拍子そろそろことって、市長できると思うのですよね。お金かけなくてもできると思うのですよ。そのこともちょっと前向きに、あさっての検討委員会の方にも、自治体等にお願いしたいと思います。

◎市長 いろんな意見いただくのは我々も非常に歓迎します。JR北海道に関係している人ではないですね。

◆市民 ないです。

◎市長 ちょっと失礼かもしれませんが、僕から見てJR北海道は、もう役所より役所っぽい会社になっていますから、なかなか我々がさまざまな提案しても、それをすぐ実行するというのは100年かかります。そういう会社のように思います。

だけど、我々維持困難線区何とかしなきゃいけない。通学あるいは通院で少なくとも住民の皆さんが利用している。それから、我々が伝え聞いている赤字額からいうと、たとえスポットでぶあつと増えても、なかなかそれで赤字解消しないというぐらいのボリュームの数億の赤字ということになります。ちなみに、この二、三年で苫小牧駅がJR利用客で一番活気が出たのは、ゆるキャラのあのイベントだったのです。あのときは、数千人利用客が増えました。そういう効果もありますけれども、それを例えば365日の3分の1くらいやっていたら、JR北海道も、多分、銭が入ると思いますけれども、なかなか一発のスポットでですね、今、我々が聞いている赤字額を解消するというにはならないのですけれども。しかし、もともと公共的な交通なわけですから、赤字覚悟でやる気概をJR北海道に見せてほしいなというふうに思っていて、いろんなことをぶつけていますので。また、今回も常務さんが来られるので、今日の具体的な提案についてはそういう市民の声もあると、苫小牧、むかわ開通のときは何かできないかという話をしておきますから、はい。

○司会 他に。

◆市民 今の市長さんがおっしゃっている件で、一番海辺を走っているところ。あれを全部、丘の上に上げてしまった方が事故がないと思うのですけれども、それは上げることはできないのでしょうか。上へ上げてしまった方が、もうかけたお金はもう損失はしないと思います。何も台風が来れば流されて。2か所ですから、厚真の向こうとむかわから行ったところ。あれだけ丘に上げてしまって、国道沿いにでも持ってこれないものではないのでしょうか。

◎市長 まあ、現実的には、それだけの設備投資をして、安全を確保するだけの体力がJR北海道には、今、全くないと考えるべきだと思います。大変残念なことですから

どもね。

- ◆市民 丘に上げればもう後でお金かからない。みんな丘に上げているのに、そんな危ないところに、あんな壁ぐらいやっても、もたないと思います。子供だましみたいことをやって。

○司会 他に御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、他にないようなので、これで当日参加者との市政に関する意見交換を終了させていただきます。

最後に、終了に当たりまして、          会長から御挨拶を頂戴いたします。          様、よろしく願いいたします。

- ◆植苗町内会連合会長 何かうちの町内の人より、後ろの方がたくさん集まっているような感じします。

いずれにいたしましても、今日のミーティングに大変お忙しい中、市長さん、副市長さん、そして、部課長さん方が参加の中で、植苗の思いを皆さんが訴えていただきました。このことをきっとこの地区の繁栄のために市長さん方が協力して育てていただくとお思います。どうか皆さん、本日は大変御苦労さまでした。ありがとうございます。終わります。

○司会 ありがとうございます。続きまして、市長から御挨拶を申し上げます。

- ◎市長 最後まで御熱心に御意見、御質問いただきまして誠にありがとうございました。やはり、震災以降ということで、防災、減災に関わる御指摘が多かったのですけれども、市民の皆さんが安心・安全で暮らせるような環境を整備するのは行政の役割でありますので、是非、これからも何か御意見があったら、どんどん声を届けていただきたいなというふうに思います。

もう一つ、除雪の話がありました。以前から苫小牧は、やはり雪が少ない町の、何ていうのでしょうかね。例えば札幌なんか行くと、各町内会さんが御自分でお金を出して業者さんと契約して、自己完結型でやられている、雪の多いところはなのですが、苫小牧は雪少ないものですから、基本的には市が全部やるべきだという考え方で、札幌から来られた人はびっくりするのですね。それで、とはいえ、やはりこれまでの考え方を考えるつもりはありませんので、しっかりやっていきますけれども、しかし、慣れたオペレーターで、苫小牧で稼げないものですから、みんな他に行って稼ぎに行くので、上手なオペがなかなか残らないという苫小牧事情があって、「遅い」、「下手」、これはもうツートップでいつも怒られます。しかし、毎年もう、今年もうやったのですけれども、各地区担当の業者さんを集めて、除雪についてのこちらからの指示等々について毎年やってはいるのですけれども、なかなか行き届かないというところがあります。そこは苫小牧の、ある意味よき伝統とは言えませんが、昔からそういう町ということで。しかし、ここは、植苗はいろいろな意味で御不便をかけてきた歴史的な経過がありますので、我々もできる限りの

ことはさせていただきたいということで考えておりますので。ただ、通学路なら別ですけれども、歩道の全てをやれというのは、なかなか今の態勢では不可能だなということを思いながら聞かせていただきました。今年あまり雪、降らせませんので、もう降ったらおわびしますけれども、是非、除雪については御勘弁いただきたいというふうに思います。

むすびになりますけれども、重ねて最後までお付き合いいただきましたことを心から御礼を申し上げまして、御挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 それでは、以上をもちまして、まちかどミーティングを終了させていただきます。本日はありがとうございました。